

「はじめて魚タッチングシート」の使い方

魚タッチングシートは、水槽の生き物を見ながらチャレンジするクイズです。お子さんと一緒に生き物を観察して、クイズの答えを見つけてください。今まで気づかなかった新しい発見があるかもしれません。

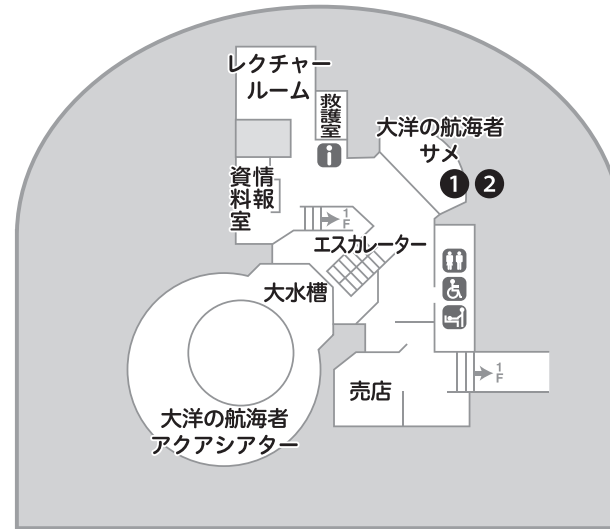
→まず、やってみたいシートを選びましょう。
シートは10種類あります。

→右の地図を参考に水槽に行ってみましょう。
(例えばシート1を選んだ方は、右の地図中①の水槽へ)

→水槽の生き物を観察してシートのクイズにチャレンジ！
シートの後ろにある答えを見る前に、まずはじっくり観察してみましょう。

→大人の方向けの詳しい説明がこのガイドの裏にあります。
これを参考にお子さんと会話をすれば、さらに理解が深まり、興味が広がるでしょう。

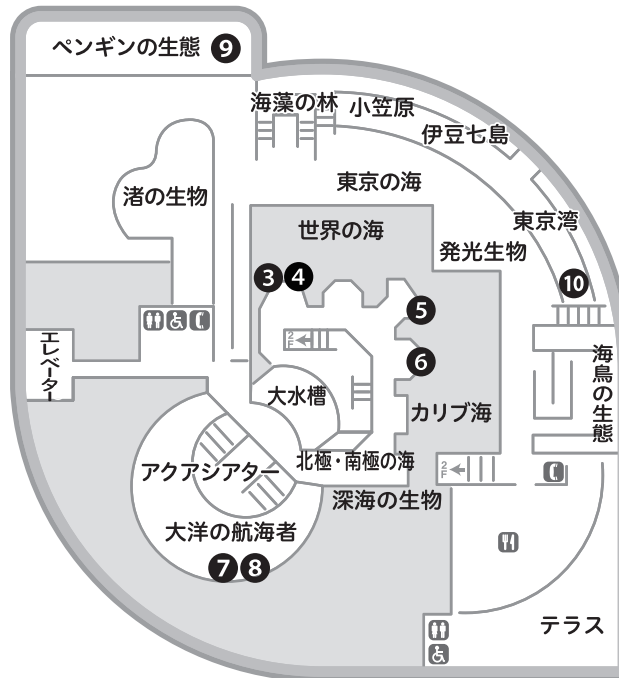
→わからないこと、さらに調べたことがありましたら、
2階の情報資料室をご利用ください。



2F

地図中の①から⑩の番号はシートの番号です。

- ①・② 「大洋の航海者 サメ」
- ③・④ 「5 南シナ海」
- ⑤ 「15 オーストラリア西部」
- ⑥ 「18 北海」
- ⑦・⑧ 「アクアシアター」
- ⑨ 「ペンギンの生態」
- ⑩ 「43 東京湾の泥干潟 1」



1F

1 お〜い、へんてこなサメがいるぞ!

アカシユモクザメの頭の形は掃除機のようなですね。横に広がった頭は、舵の役割をしていて、頭の向きを変えるだけで、すばやく方向を変えることができます。水槽のアクリルぎわで巧みに方向を変える様子を観察してみましょう!頭の両端にある眼、みぞのような鼻の穴も探してみましょう。

2 エイのくちはどこにある?

はばたくように泳ぐエイのお腹側を下から見上げてみると、口と鼻の穴が見つかります。ウシバナトビエイは、口とその前方にある2枚のヒダを使って、砂の中のエビや貝を掘り出して食べます。お腹側に口があれば便利ですね。背中にある孔は、呼吸のための水を吸い込む孔です。

3 ウツボのおうちはどこ?

ニョロリと長い体のウツボは、せまい岩のすきまや穴でくらしています。長いだけでなく、小さなエラ孔、胸ビレも腹ビレもないツルリとした体で、せまいところを巧みにくねくねと泳ぐことができるのです。水槽の中でも、エサの時間以外は、岩のすきまにかくれていることが多いので、じっくりと探してみてください。

4 え をかいてみようネズミフグ

丸い体とヒレ、よく見ると鋭くて細長いトゲがたくさん。このトゲは、ウロコが変化してできたもので、とても頑丈です。普段は、ねかせていますが敵に襲われたら、海水をのんで体を膨らませ、たたせます。膨らむことで体を大きく見せ敵を驚かしたり、トゲで食べられないようにしたりして、身を守っています。

5 え をかいてみようウィーディ シードラゴン

海藻のようなヒラヒラは、ヒレではなく、皮フが変化したもの。本当のヒレは、合計3枚あり、透明で目立ちません。見えにくいヒレを動かして、まるで海藻のようにエサに忍び寄ります。姿形だけでなく動きまでも、海藻に似せる、すばらしい変装術なのです。

6 カレイのおうちはどこ?

砂に上手に隠れるカレイ。上下につぶれた体のように見えますが、じつは左右につぶれた体を横たえているのです。体を立ててみると、眼が片側によっている以外は、ふつうの魚と同じです。同じように砂に身を隠すのがじょうずなアンコウは、上下にべちゃんこ。比べてみましょう!

7 クロマグロのからだのかたち

大きなマグロの顔を正面から見るとほぼ円形。横から見ると真ん中が太く両はじが細い形。そう、マグロの体はラグビーボールのような流線型をしているのです。この形は、水の抵抗を受けにくく、速いスピードで泳ぎ続けるのに適した形。ペンギンの泳ぐ姿を横から見ると、同じ形をしていますよ!

8 え をかいてみようクロマグロ

マグロは体の後ろにある尾ビレを動かして泳ぎます。このヒレは、動かし続けるのに適した大きさと形。また、ゆっくり泳ぐとき、体の横にある胸ビレを飛行機の翼のように広げ、速く泳ぐときは、つけ根にあるくぼみにくっつけます。これは、体のでっぱりを少なくし水の抵抗を小さくして、速く泳ぐためなのです。

9 ペンギンはとりなんだ!

ペンギンをよく見ると、ハトやカモメと同じように「くちばし」や「爪のついたあし」があります。ヒレのように見えるのは「つばさ」で、水を押し泳ぐのに便利のように、平たくてかたいボートのオールのような形をしています。ペンギンは、空は飛べないけれど、水中を飛ぶように泳ぐことができる鳥の仲間なのです。

10 ほんもののトビハゼをさがせ!

泥干潟でくらすトビハゼの体には、泥の上でくらすのに便利な特徴があります。頭の上にある眼は、より遠くまで見渡せ、敵がやってきてもすぐに泥に掘った穴や水の中に逃げ込むことができます。下を向いたしっかりとした胸ビレを、まるで足のように使って、じょうずに泥のなかをはいまわる様子も見てみましょう。